

リレー記事 NO.125

「もったいない」を見直す片付け術

断捨離が広まって15年ほど経ち、今ではすっかり当たり前の言葉として使われるようになりました。仕事で片付けについて話すと「整理したいけど片付かない」という悩みの背景には、決まって「もったいない」という思いがあります。

かつて「もったいない」は、物を長く使い切ることを大切にする考え方でした。しかし、今は手軽に物が手に入る時代です。物を残し続けることで、収納の手間やコストが増え、さらに物が増える負のスパイラルに陥ることもあります。そんな“もったいないマインド”こそ、実はもったいないのです。とはいえ、断捨離は単に捨てることが目的ではありません。物を持つ暮らし自体が悪いわけではなく、大切なのは、持ち物が今の自分の生活に合っているかを見直すことです。今は「長く持つこと」だけでなく本当に必要な物をどう選び、使い、手放すかまで含めた新しい「もったいない」の感覚へのアップデートが必要だと感じます。



【買う時・片付ける時の5つのポイント】

値段や流行りだけで買わない	「迷うのが値段なら買う。買う理由が値段ならやめる。」衝動買いを防ぎ、本当に欲しいものだけを選ぶ判断基準に。
ワンインワンアウト	新しい物を1つ家に入れたら、同じようなカテゴリの物を1つ手放す。収納は“収まる分だけ”と上限を決める。
「いつか使うかも」ではなく「今使っているか」	いつかではなく「今」の自分や生活に必要か。物が主役ではなく自分主体の考え方で選択する。
不要なものは次の必要な人へ	ネットフリマ、寄付、回収プロジェクトを利用するなど、それを求める次の誰かへバトンタッチ。
景色を変えて見直す	食器棚、冷蔵庫、薬箱、車内は不用品のたまり場。収納から一度全て出して見ると使っていないものに気づく。



物が減ると家事も減り、自然と家が片付きます。自分に合った物選びの基準を持って、無理のない“増やさない暮らし”を続けていけたらと思います。（堤）

未来を創ろうオンラインタビュー

No.85 有限会社 坂本産業 坂本 純子 氏

エコけんの賛助会員である「有限会社 坂本産業」の坂本純子さんにお話を伺いました。坂本産業では、建築用仕上げ材の製造・販売をされており、社長であるご主人は環境に配慮した商材の提供、研究・開発から現場の指揮を担当。純子さんは経理をはじめとする庶務全般を担っておられます。

Q. 未来のために、今、何が重要だとお考えですか？

A. 環境に配慮した商材の提供を創業当初から続けてきました。トライ＆エラーの繰り返しで大変なことも多かったですが、それでも長く続けることが大切だと考えています。



Q. そのために、ご自身が暮らしの中で心がけておられることがあれば、お聞かせください。

A. 夫はオーダーにあわせて壁材を配合することでロスを少なくする工夫をし、環境に配慮した商材の提供を続けてきました。現在は遮熱塗材の完成に向けて研究開発にも取り組んでいます。

私は、一人でやると負担が大きくなり、長く続けるのが難しいと感じることは、家族を巻き込むようにしています。例えば、ごみの分別などですね。一人でも多くの人を巻き込むことで、その分広がり、継続にもつながると思っています。

【未来創りに向けたメッセージ】

「Keep Calm and Carry On」

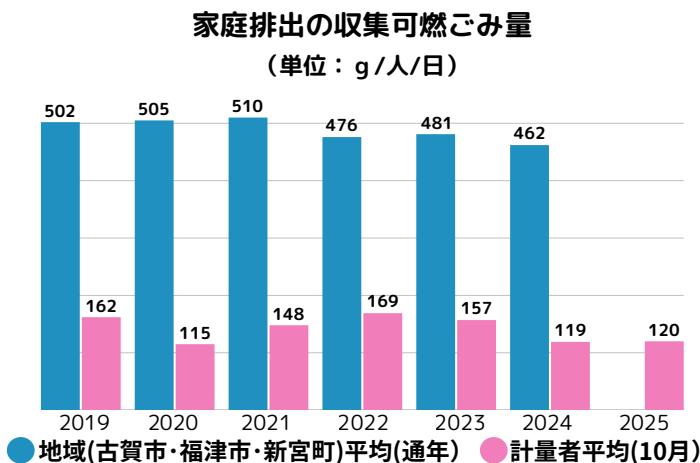
動物病院で貼ってあるポスターのこの言葉がとても印象に残り、意味を調べたら「継続は力なり」という意味でした。

自分にとって無理のないひと手間を続けることが未来につながると思っています。

取材で伺った坂本さんのお宅はとても素敵で、純子さんの好きがたくさん詰まった空間でした。ご家族はもちろん、訪れた方にも居心地がいいなど感じてもらえるよう心がけているそうです。ただし、「自分自身が楽しめないと意味がないので、無理のない範囲でやっています」と話してくださいました。

薬膳、台湾茶など、興味を持ったことには積極的に取り組まれている坂本さん。その柔軟で前向きな姿勢は、私自身もぜひ見習いたいと思いました。

家庭ごみ量調査結果報告



「家庭ごみ計量調査」結果

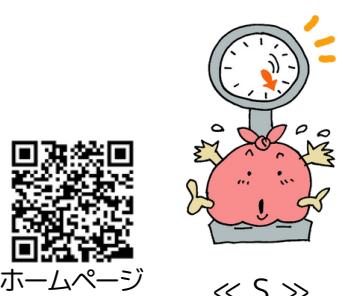
エコけんでは、1年の中間時期であり、年間排出量の平均に近い排出のある10月を、家庭ごみ計量月間として、ごみ減量に取り組んでいる家庭を対象に計量の協力を呼びかけ、その結果を、日頃の環境講座に用いています。

今回は16世帯(延べ1261人分)の協力を得、ひとり1日あたり120gという結果になりました。計量者にはごみ減量について振り返る機会になると好評です。

2月～3月 「再資源化生ごみ」「雑がみ」計量のお誘い

2月、3月は再資源化生ごみと雑がみの計量を予定しています。生ごみや雑がみの再資源化を実践されている方は計量のご協力をよろしくお願ひします。

* 記録紙はHP上の家庭ごみ計量調査ページにアップしています。

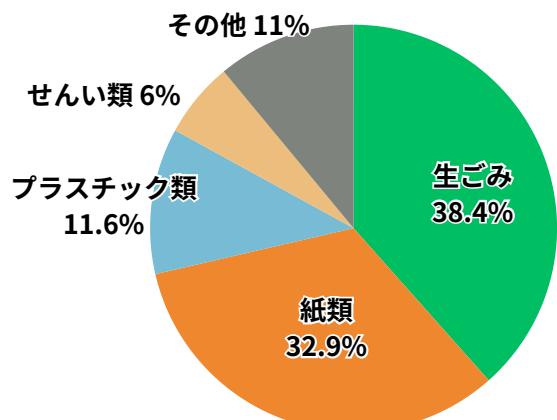


<< S >>

「雑がみ」分別していますか

最近、ポストインの広告やダイレクトメールが増えてきたと思いませんか。暮らしの中にチラシの他、菓子箱、包装紙、ハガキ、ノート、ティッシュの空箱、カレンダー、トイレットペーパーの芯など雑がみが溢れています。これを全部ごみ箱に捨てて燃えるごみにすると相当な量になりますし、資源の無駄使いですね。新聞、雑誌、段ボールに加えて、雑がみも回収されればリサイクルされます。紙袋に入れて集めるとあっという間にいっぱいになります。ごみ袋代が節約できて、資源が保存されて環境にも優しいです。ただ、匂いや食べ物などがついているものはリサイクルに出せません(禁忌品)ので気をつけましょう。

京都市の燃やすごみの割合 (2022年)



京都市「令和4年度 家庭から出る燃やすごみの内訳」より作成



← 雜紙・禁忌品についての詳細を確認できます。
(福岡市HP)

<< Ms.W >>

アートバス事業

古賀市では、市内に美術館がない子どもたちに本物の美術作品に触れる機会をつくるため「アート・バス」という取り組みを行っています。今回、エコけんが事務局として参加しました。

今年は、福岡県立美術館で開催された「没後50年 高島野十郎展」を訪れ、久留米市出身の洋画家・高島野十郎による、普段なかなか公開されることのない貴重な作品の数々を鑑賞しました。学芸員さんによる丁寧な解説にみんな興味津々。小・中学生は、それぞれのお気に入りの作品を見つけて感想を語り合う姿がとても印象的でした。野十郎の多彩な作品世界に触れ、子どもも大人も芸術に親しむ貴重な体験となりました。



エコけん賛助会員継続、新規入会のお誘い

日頃より活動へのご理解、ご支援をいただき誠にありがとうございます。 賛助会員の皆様には、LINEやエコけんニュースなどを通し、様々な情報を直接発信しております。

賛助会員：1口1,000円

*当該年度会費は、前年度の3月31日までに納入をお願いします。もちろん、当該年度途中に納入していただいても構いません。
また会費の納入については、振込、現金による手渡し、どちらの方法でも構いません。

【振込先】

ゆうちょ銀行 特定非営利活動法人工コけん

ゆうちょ銀行から

〔記号〕17470 〔番号〕5060781

他金融機関から

〔店番〕748 〔支店名〕748（ナナヨンハチ）

〔種目〕普通 〔口座番号〕0506078



エコけん公式LINE

【エコけんLINE公式アカウント】お友だち登録をお願いします。月1回程度、教室やイベント情報などを配信します！LINE電話も可能です。

※メールでも情報を受け取ることができます。 ecoken@npo-ecoken.sakura.ne.jp